

| | | |
|----------------------------|--|-------------|
| 開講科目名 / Course | 社会保障システム論 | |
| ターム・学期 / Term・Semester | 2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second | |
| 開講区分 / semester offered | 2 学期 / Second | |
| 単位数 / Credits | 1.0 | |
| 学年 / Year | 2 | |
| 主担当教員 / Main Instructor | 持田 恵理 | |
| 担当教員名 / Instructor | 持田 恵理 | |
| 必修・選択 / compulsory subject | 必修 | |
| 講義形態 / Class Type | 講義 | |
| 授業回数 | 8 | |
| 科目の目的と概要 | 本講義では、国民の生命・健康と生活を支える社会保障制度すなわち保健・医療・福祉サービスを提供するための制度の概要を学ぶ。 まず社会保障全体の枠組みと意義を理解した上で、個人や集団の生活を支え健康を保持・増進するための保健・医療・福祉に関する法制度および行政上のシステムの概要を理解する。 | |
| 到達目標 | 1. 社会保障の意義を説明できる。 2. 社会保障制度の内容を説明できる。 3. 社会保障制度の課題を説明できる。 | |
| DPとの対応 | 3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ | |
| 授業計画 | 01. 社会保障制度の概要 02. 医療保障 03. 介護保障 04. 所得保障 05. 公的扶助 06. 社会福祉（高齢、障害） 07. 社会福祉（児童） 08. 看護職と多職種連携 | |
| その他の授業の工夫 | 法や制度の記憶に終わらず、その意義や課題を理解できるよう、可能な限り最新のデータを提供して、実社会の動きや事象と関連付けられるように解説する。 | |
| 時間外学修 | 事前学修：前日までに講義資料を配布するので、講義までに一読しておくこと。（8h） 事後学修：毎回講義内容が多岐にわたるため、講義回ごとに復習し、「国民衛生の動向」などに関連事項を理解すること。（14h） | |
| 評価方法と評価割合 | 筆記試験（80%） 各回講義の後の小テスト（20%） | |
| テキスト | 講義ごとにハンドアウトを配布する。 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[3,4]（医学書院） | |
| 参考書 | 国民衛生の動向（厚生労働統計協会） 国民の福祉の動向（厚生労働統計協会） 保険と年金の動向（厚生労働統計協会） | |
| 履修する上で必要な要件 | | |
| その他 | | |
| 教員の実務経験 | 有・無 | 有 |
| | 内容 | 持田恵理：行政の保健師 |
| 教員以外で指導に関わる者の実務経験 | 有・無 | 無 |
| | 内容 | |
| 実務経験をいかした教育内容 | 保健福祉行政に関わった経験から、社会保障制度の仕組みを教授するとともに、各政策と看護職の関わりについて学べる内容とする。 | |